

# Olive News

オリーブ 便り



基本理念 患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

## 香川大学医学部附属病院キャラクター「くーちゃん」のLINEスタンプができました!

香川大学医学部 総務課広報法規・国際係

香川大学医学部附属病院では、この度キャラクター「くーちゃん」のLINEスタンプを制作しました。

「おはよう」「おやすみ」「おだいじに」等定番の挨拶から「まんできん」といった香川県の方言スタンプまで、1セット全40種類の描き下ろし絵柄のくーちゃんがLINEでの会話を盛り上げます。

12月21日から、LINE STOREにて販売を開始しておりますので、ぜひご活用ください。

こちらからご購入いただけます。

<https://store.line.me/stickershop/product/25116516/ja>

### スタンプ概要

- ▶ スタンプ名 : 香大病院キャラクター「くーちゃん」
- ▶ 規 格 : 1セット・絵柄全40種類
- ▶ 販売価格 : 120円/50コイン



### 香川大学医学部附属病院キャラクター「くーちゃん」とは

香川大学医学部附属病院キャラクター「くーちゃん」は翼のある不思議な生きもの。大きな目を持ち、病気や悩みで困っている人を発見し、その大きな翼でどこにでも飛んで駆けつけることができます。心電図のような口は人々の心の揺れを敏感に察知し、悩みや痛みに共感することができます。そして、翼である両手とふわふわの羽毛で病気の人や悩みを抱える人を包み込み、持ち前の愛らしさで癒してくれます。また、ふわふわの羽毛から生まれた黄色い相棒と一緒に病気の予防活動にも努力しています。

ご退職おめでとうございます

## 退官を迎えて-すべての人に感謝を込めて

香川大学医学部附属病院 消化器内科 診療科長  
内視鏡診療部・臨床栄養部 部長  
超音波センター・医師キャリア支援センター センター長 正木 勉

香川医大に昭和59年に入学し、令和6年3月31日の退官まで40年の月日が流れました。今思えばこの40年間は、仰ぎ見れば遙か彼方、過ぎ去れば一瞬でした。そして、平成20年から発展途上にある教室、消化器・神経内科学講座の教授に就任いたしました。教授としての任された重圧は、かなり大きいものでしたが、私の人生において最も輝かしい16年間であったことには間違いがありません。教授就任時の平成20年7月1日に書いた同門会誌をめくると、次のような文章を書いていた。【任されたこの消化器・神経内科教室を日本でトップクラスに押し上げ、多くの素晴らしい人材が輩出できるような教室にする。そのためには、臨床、研究分野における成果を国内のみならず、世界に発信させる努力を厳しく教室員に課していきたくて決心しております。その努力が、創立30年に満たない新設大学の内科学教室が、伝統ある大学の教室と戦える唯一の手段だと考えているからです】。

以上のことを述べています。私の力は大きくはなかったが、教室員の努力で年々、論文数、インパクトファクター、科



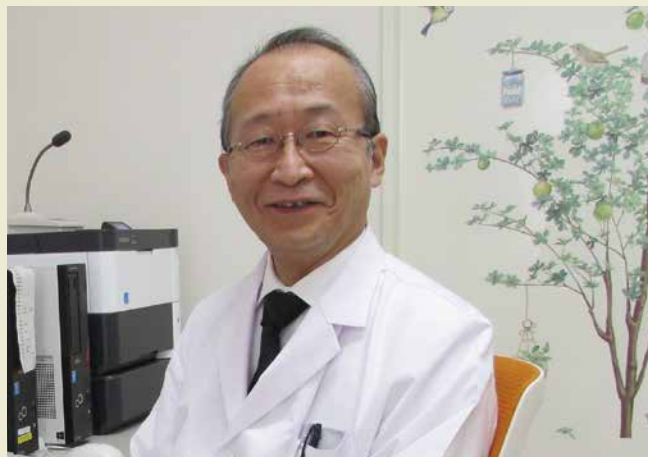
学研究費【外部資金の導入】が私の予想をはるかに超えて増えていきました。ここ16年間で、教室員は私の目標に十分答えてくれたと感謝しています。また、私の教授期間中フレッシュマンが86人も入局してくれ、それが発展の原動力になったことはいうまでもありません。

そして教授就任から、教授最終年に至るまで私を支えてくれた他科の教室の皆様、臨床栄養部、内視鏡診療部の職員、超音波センターの職員の皆様には、ただただ感謝申し上げます。ありがとうございました。これまでの人生において最も充実した16年間でした。今一度香川大学医学部の全職員の皆様、ありがとうございました。

## 退職のご挨拶

香川大学医学部附属病院 総合内科 診療科長  
総合地域医療連携センター センター長 舛形 尚

令和6年3月末に退職となります総合内科の舛形尚(ますがたひさし)と申します。皆様、長い間お世話になりました。ありがとうございました。昭和61年に香川医科大学医学部附属病院第二内科(現在の循環器・腎臓・脳卒中内科)に研修医として採用され、香川井下病院で2年間、大阪労災病院で2年間研修させていただきました。その後、本院循環器内科の仕事に従事しました。平成16年からは坂出市立病院内科で2年間お世話になり、総合内科や総合診療へ進む動機付けとなる教育をしていただきました。平成18年に香川大学医学部附属病院総合診療部に採用されました。当時の総合診療部は病棟が開設された頃であり、腫瘍患者さん中心に様々な患者さんが入院されており、全診療科の皆様に対診などをご指導いただきました。平成24年に医師ジェネラルリスクマネージャーを拝命し、医療安全の業務にも従事しました。平成26年に総合内科が開設されま



した時に診療科長を拝命し、また地域連携室(現在の総合地域医療連携センター)長も拝命し、身の引き締まる思いでした。長い間、病院内外の皆様からご指導、ご支援を賜りまして感謝の気持ちでいっぱいです。総合内科、医療安全、地域連携と大変貴重な勉強をさせていただきましたこと重ねて御礼申し上げます。最後になりましたが、皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして退職のご挨拶とさせていただきます。

## おかげさまで、退職を迎えることができました

香川大学医学部附属病院 看護部 副看護部長 田中 ひとみ

おかげさまで、大過なく香川大学医学部附属病院での勤務を終えようとしています。未熟だった私をここまで育て、成長の機会を与えてくださった多くの患者さんや職員の皆さんに深く感謝しております。そして私を導いてくださった諸先輩方や、支えてくださった皆さんに心から感謝申し上げます。

なかでも平成21年4月からの感染対策室での6年間は、感染対策の責任者として「組織横断的にどう行動すべきか」を考える機会となり、非常に勉強になりました。平成28年4月からは、副看護部長として、患者さんから信頼される看護の提供と働きやすい職場環境の調整に注力しました。力不足で十分なことができず時間切れとなりましたが、次世代に夢を繋ぎます。

次世代の皆様で、県下唯一の大学病院として、最高の医療を家族のような愛情を持って安全に提供し、誰からも選ばれ信頼される病院を実現されますよう祈念しております。



## 定年に際し心よりの感謝を

香川大学医学部附属病院 看護部 副看護部長 松賀 晴美

昭和60年4月、香川医科大学医学部附属病院のOP・ICUから看護師のキャリアがスタートしました。開院からまだ2年で活気があり、エネルギーにあふれているような雰囲気でした。当時は怖い先輩や厳しい医師の指導があっても、晴れてライセンスを取得し看護師として働けることが嬉しく毎日充実した日々でした。その後、国立病院機構の医療センターや私立の総合病院を経験し、最後の10年を大学で過ごすことができたことはとても幸せでした。管理者としての時間が長かったため学生とも深く関わり、看護師育成において多くのことを学ばせていただきました。

看護師は病院内外においてあらゆる場面で「支える存在」であると思います。今後も「ささえる・つながる・リードする」のキャッチコピーそのままに、香大ナースの活躍を期待しています。これまでお世話になった皆様に関心感謝申し上げます、香川大学医学部附属病院の発展を祈念し退職のご挨拶とさせていただきます。皆様ありがとうございました。



## 出会いに感謝を込めて

香川大学医学部附属病院 看護部 看護部長 小林 美香

私は、昭和60年4月オープンしたばかりの東病棟1階から看護師としてのスタートをきりました。以来38年間勤務させていただき令和6年3月で退職を迎えることとなりました。長い間本当にお世話になりました。

不安でいっぱいの中、当時の師長さんよりオリエンテーションをうけた初日の情景が昨日のことのように思い出されます。入職当時はまだプリセプター制度やPNS体制もなかった頃ですが、諸先輩の方々から多くの大切なことを教えていただきました。失敗して落ち込んだこともありますが、今思うと日々新たなことに挑戦し、充実した楽しい日々でした。

その後、様々な部署を経験し、多くの患者さんやご家族、すばらしい医療スタッフの方々とお会いすることができました。患者さんから感謝の言葉や、時にはお叱りの言葉をいただきながら多くのことを学ばせていただいたことは、私の宝物となっています。「看護」を通して自分自身が成長することができたと感じています。皆様との出会いに心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、当院のますますの発展と皆様のご健勝を祈念し、退職のご挨拶とさせていただきます。



## 安全で快適な手術室環境

香川大学医学部附属病院 手術部長 荻野 祐一

1月1日付けで手術部部長に就任しました。前年8月に群馬から赴任してきて以来、少しずつ香川に馴染むにつれ、香川が持つ独自の魅力に大きな可能性を感じております。私の手術部キャリアは、前任地の群馬大学において麻酔科医会長を務めていた時分(2014年)に手術部運営委員として参加していた以来となります。当時、群馬大学附属病院では手術部長(外科教授)が旗振り役となり手術数増加に向けて画策していましたが、間もなく腹腔鏡手術連続死亡事故が世に明るみとなり、手術数がゼロになるという経験をしました。その時の過酷な経験から、手術部(あるいは医療全体)における最重要価値は「安全」であると確信しました。手術室は病院の中で最も先進的かつ侵襲的な医療行為が行われる場所ですが、その安全価値を守るには事故が起こってからでは遅く、事故が未然に起きないようにする環境づくり(専門用語でノン・テクニカルスキルとも言います)が最重要となってきます。私の脳科学研究で「環境により脳の構造が



変わる(Frontiers in Human Neuroscience誌, 2019年)」というものがあります。「環境」と言っても物理的な空間だけを指すのではなく、快適さ、感染防御(清潔さ)、労務や人間関係など、我々を取り巻く全てを含んだ上での「環境」を指しています。患者さんと我々医療者が共に安全が確保された上で、快適と感じる環境を構築することが手術部の仕事だと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

## 院内緑化推進プロジェクトの実施について

香川大学医学部 管理課

本院では、高度で良質・安全な医療の提供に加えて、患者さんばかりではなく、来院される皆さんにも、「やすらぎ」や「癒し」を感じていただける居心地の良い環境作りを目指しています。

その一環として、院内緑化推進プロジェクトを実施し、病院玄関に植物を設置しました。

院内緑化推進プロジェクトは、ご賛同いただきました多くの企業様のご支援により運営されています。



ケーブルTVで放送中



詳しくはこちら



3月のテーマ 命を救うドクターヘリ～香川県ドクターヘリの紹介～

4月のテーマ 未来への安心を育む:総周産期母子医療センターの使命と挑戦

### イベントカレンダー 2024年3月~4月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
3/3 (日)	10:30~12:00	東かがわ市交流プラザ 2階多目的ホール	東讃地域 脳卒中・心臓病 県民公開講座 生涯大切にしたい脳と心臓	脳卒中・心臓病等 総合支援センター	(087)891-5684
3/10 (日)	12:00~15:00	イオンモール綾川 1Fグリーンコート	世界腎臓Day2024 in かがわ ~あなたの腎臓、気にしたことありますか?~	香川県慢性腎臓病 対策協議会 事務局	(087)891-2150
4/21 (日)	13:00~16:00	サンポートホール高松 大ホール	市民公開シンポジウム in 高松 「人生100年時代!延ばそう健康寿命」	整形外科	(087)891-2195
4/25 (木)	14:00~16:00	福利厚生施設棟2階 マルチスペース3	カフェおりーぶ	がん相談支援センター	(087)891-2473

編集委員会 (50音順)

(2023年12月現在)

岡内(外来)、岡野(副病院長)、木内(検査)、小坂(薬剤)、近藤(医事・医療支援)、圖子(管理)、田中(病棟)、筒井(経営企画)、森(看護)、門田(放射線)、横井(医療情報)、渡邊(総務)〔委員長 門脇病院長〕